

内部講習「ペンタブ講座」 報告書

2010/10/21

広報：内野 拓

■受講者：石和・桶田・佐藤・中澤・中村・永山・船本

講師：中川

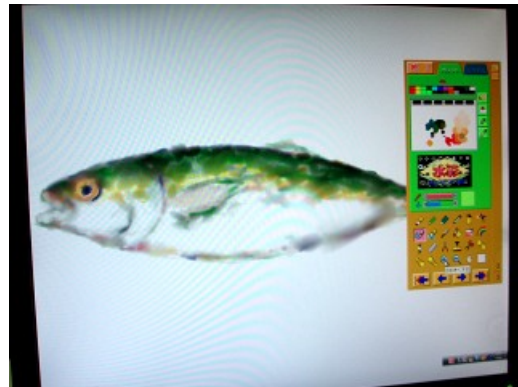
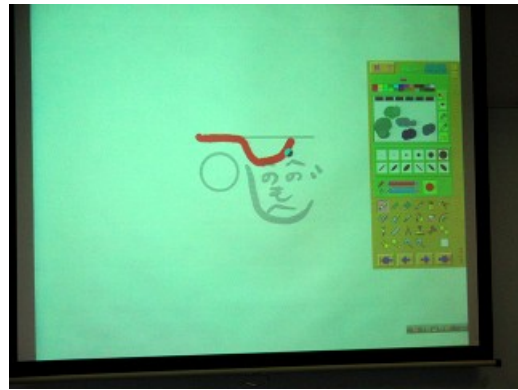
スタッフ：青田・内野・鈴木・原田・増田 (50音順・敬称略)

■2010/9/25に行われる公開講座「グラフィックアート講座」の予行演習を兼ねて、9/22に内部講習「ペンタブ講座」が行われた。

実際にはペンタブの使用法のみでなく、下書き用の画像のサイズ変更や、印刷のための編集などの画像処理も含めた内容であった。

- 1.下書き用画像処理
- 2.ペンタブによる画像作成
- 3.作成した画像を印刷用のサイズへ変更し、印刷

おおよそこのような順序で画像を作成した。



■所感

下書き画像を使えば、不慣れな人でも絵が描けるのは便利だが、やはりペンタブへの慣れが必要だと感じた。

使用したペンタブ用のアプリが基本的な機能しかないため、作った画像を印刷する際に、さらに編集が必要となるのも、少々手間ではある。

水彩アプリそのものの使い勝手はなかなか良好だが、たまに UNDO が効かなくなったり、色が塗れなくなるなど不安定な部分も見られた（再起動で回復する）。